

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 1 区分
【発行日】 令和 7 年 3 月 21 日 (2025.3.21)

【公開番号】 特開 2023-160204 (P2023-160204A)
【公開日】 令和 5 年 11 月 2 日 (2023.11.2)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-207
【出願番号】 特願 2022-70379 (P2022-70379)
【国際特許分類】

B 0 8 B 3/02 (2006.01)

C 1 1 D 17/08 (2006.01)

【F I】

B 0 8 B 3/02 E

C 1 1 D 17/08

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 3 月 12 日 (2025.3.12)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

液体を噴射するヘッド部と、前記液体を前記ヘッド部まで搬送する液体搬送管と、を備え、

前記液体は、溶媒と、対象物に付着した付着物を洗浄する洗浄剤と、を含み、

前記液体における前記洗浄剤の含有量は、前記液体の 1 重量% 以上であり、

前記液体を前記ヘッド部から連続流で噴射するとともに前記連続流を液滴化させて液滴状で前記対象物に衝突させることを特徴とする液体噴射装置。

30

【請求項 2】

請求項 1 に記載の液体噴射装置において、

前記液体における前記洗浄剤の含有量は、前記液体の 10 重量% 以下であることを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の液体噴射装置において、

前記液体を貯留する液体貯留部を備え、

前記液体搬送管は、前記液体貯留部から前記ヘッド部まで前記液体を搬送することを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 4】

40

請求項 1 または 2 に記載の液体噴射装置において、

前記溶媒を貯留する溶媒貯留部と、前記洗浄剤を貯留する洗浄剤貯留部と、前記溶媒貯留部及び前記洗浄剤貯留部と接続され、前記溶媒と前記洗浄剤とを混合する混合部と、を備え、

前記液体搬送管は、前記混合部から前記ヘッド部まで前記液体を搬送することを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の液体噴射装置において、

前記混合部で混合する前記溶媒と前記洗浄剤との混合比を制御する制御部を備え、

前記制御部は、前記ヘッド部からの前記液体の噴射量を制御可能であるとともに、前記

50

噴射量に応じて前記混合比を変更することを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の液体噴射装置において、

前記溶媒を前記溶媒貯留部から前記ヘッド部まで供給させる液体供給部を前記溶媒貯留部と前記ヘッド部との間に備え、

前記混合部は、前記液体供給部と前記ヘッド部との間に設けられることを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 7】

請求項 1 または 2 に記載の液体噴射装置において、

前記ヘッド部は、少なくとも 1 つのノズルを有し、

前記ノズルの孔径は、 0.01 mm 以上 0.15 mm 以下であることを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 8】

請求項 1 または 2 に記載の液体噴射装置において、

前記ヘッド部からの前記液体の噴射量は、 1 mL/min 以上 25 mL/min 以下であることを特徴とする液体噴射装置。

【請求項 9】

請求項 1 または 2 に記載の液体噴射装置において、

前記ヘッド部からの前記液体の噴射圧は、 0.5 MPa 以上 3.0 MPa 以下であることを特徴とする液体噴射装置。

10

20

30

40

50